

短大特任教員教育研究業績書

平成 30 年 5 月 5 日

氏名	ふりがな	所属	職位	性別
古閑 真実	こが まみ	保育学科 通信教育課程	教授・准教授・講師・ <u>助教</u>	男・ <u>女</u>
担当科目名				
音楽表現、音楽表現IA				
学歴				
和暦(西暦)年 月	事項			学位
昭和 54(1979)年 4 月	武蔵野音楽大学 音楽学部 器楽学科 (ピアノ専攻) 入学			
昭和 58(1983)年 3 月	武蔵野音楽大学 音楽学部 器楽学科 (ピアノ専攻) 卒業			芸術学士
平成 28(2016)年 4 月	明星大学通信制大学院 教育学研究科 教育学専攻博士前期課程入学			
平成 30(2018)年 3 月	明星大学通信制大学院 教育学研究科 教育学専攻博士前期課程修了			修士(教育学)
平成 30(2018)年 4 月	明星大学通信制大学院 教育学研究科 教育学専攻博士後期課程入学			
教育歴・職歴				
名称	期間	教育内容又は業務内容		
大泉保育福祉専門学校	平成 23 年 4 月 ～平成 27 年 3 月	保育科(音楽) 非常勤講師		
総合学園ヒューマンアカデミー 東京校	平成 28 年 4 月 ～平成 29 年 3 月	チャイルドケアカレッジ [豊岡短期大学通信教育部こども学科(音楽表現)] 非常勤講師		
株式会社小宅楽器	平成 28 年 4 月 ～平成 30 年 3 月	ピアノ科講師(ピアノ実技・ソルフェージュ・リトミック)		
特定非営利活動法人 ハローハンディキャップ・タイム	平成 29 年 7 月 ～平成 30 年 3 月	障がい児者指導員		
小田原短期大学	平成 30 年 4 月 ～現在に至る	保育学科 通信教育課程 助教		
所属学会等				
名称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)		
日本ダルクローズ音楽教育学会	平成 28 年 4 月～現在	正会員、口頭発表		
日本音楽教育学会	平成 28 年 11 月～現在	正会員		
音楽教育史学会	平成 29 年 7 月～現在	正会員		
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (PTNA)	昭和 59 年 2 月～現在	正会員		
社会活動等				
名称	活動期間	活動内容		
久喜おやこ劇場	平成 3 年 4 月～現在	久喜おやこ劇場会員として、平成 4 年～平成 16 年には自主活動のコンサートを多数企画・開催。主として子ども対象の聴衆参加型ピアノ連弾コンサートを行う		
パープルエコー	平成 15 年 11 月～現在	合唱サークル パープルエコー指導者。ベルカント唱法の発声指導・歌唱指導を行う		
アンサンブル・ミー	平成 21 年～現在	ピアノ、声楽、チェロの 3 人のアンサンブルである「アンサンブル・ミー」において、ピアノソロ演奏、ピアノ伴奏、アンサンブル、編曲等を担当している。スクールコンサート、幼児・児童を対象としたコンサート、また障がい児施設、老人施設等でのコンサートも行っている。		
ルピナス	平成 24 年 5 月～現在	合唱団ルピナス専属ピアニスト。1 年に 1 回定期演奏会に出演		
大泉保育福祉専門学校	平成 24 年 2 月	大泉保育福祉専門学校が保育士・幼稚園教諭・特別支援学		

主催、「福祉人材教育」		校教諭を対象として開催した、「福祉人材教育」の平成 23 年度プログラムの最終回「実技『コンサート』」（みよし保育園において開催）に、ピアノソロ・ピアノ連弾・声楽伴奏者として出演
レクチャー・ミニコンサート	平成 27 年 4 月～5 月	クラヴィコード（ピアノの前身となる古楽器）を紹介する、レクチャー・ミニコンサート（ソロ演奏）を企画・演奏。計 4 回行う
シェンク ミア フリューゲル	平成 27 年 6 月～平成 30 年 3 月	合唱団シェンク ミア フリューゲル専属ピアニスト。幼児・児童対象のコンサート、障がい児のためのコンサート、老人施設等でのコンサートを多数行う
特定非営利活動法人 ハローハンディキャップ・タイム、「表現遊び」の会	平成 26 年 6 月～現在	特定非営利活動法人 ハローハンディキャップ・タイムに関わる幼児～大人を対象とし、音楽による療育的な催しを月に 1 度開催。声楽家である 1 人が中心となり企画。他にメンバーは 3 人おり、共に行っている。

担当教科目に関する資格・免許等

名 称	取得年月	取 得 機 関
高等学校教諭二級・中学校教諭一級普通免許状(音楽)	昭和 58 年 3 月	東京都教育委員会
修士(教育学)	平成 30 年 3 月	明星大学

研究実績に関する事項

代表的な著書、論文等の名称	単著 共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 特になし				
(学術論文) 1. 保育に「わらべうた」を取り入れる提案及び実践報告～創造力を育てる～	単著	平成 27 年 11 月	大泉保育福祉専門学校研究紀要 第 11 号	「わらべうた」などの身近な歌であり身体の動きを伴う教材を授業に取り入れることは、創造力を育む効果があると考えられる。3 回にわたり、わらべうた、またそれに準じた子どもの歌（自作曲を含む）を取り入れた保育実践を 2～6 歳児を対象として行った結果、子どもたちが言葉をリズム化・メロディー化すること等を楽しみ、また創造力を発揮する様子が伺えた。幼児教育において「わらべうた」を取り入れることにより、創造力を育成することができると確信した。
2. ジャック＝ダルクロワーズのソルフェージュの特徴に関する一考察—『ダルクロワーズ・ソルフェージュ』とダンノーゼルらによる『ソルフェージュ・デ・ソルフェージュ』との比較を視点として—	単著	平成 30 年 1 月	明星大学通信制大学院修士論文	『ダルクロワーズ・ソルフェージュ』とダンノーゼルらによる『ソルフェージュ・デ・ソルフェージュ』との対比により、ジャック＝ダルクロワーズのソルフェージュの特徴について考察した。ジャック＝ダルクロワーズのソルフェージュは、内的聴取等により人格の発達を目指し、また「即興」及び「音楽の生命である」とする「リズム」を重要視し、自己表現を常に行う。即ち子どもの内面に関わる教育である、との結論を得た。ジャック＝ダルクロワーズのソルフェージュは、「何を学ぶか」から「どのように学ぶのか」を目的とする教育に変わっていく転換点となった。
(学会発表)				

<p>1. ジャック＝ダルクローズの「ソルフェージュ」から「リトミック」への繋がりに関する一考察－『ダルクローズ・ソルフェージュ』と『ダンノーゼルのソルフェージュ』との比較を視点として－ (口頭発表)</p>	<p>単独</p>	<p>平成29年6月</p>	<p>日本ダルクローズ音楽教育学会</p>	<p>日本ダルクローズ音楽教育学会 第50回研究例会において口頭発表を行う。ジャック＝ダルクローズの「ソルフェージュ」が「リトミック」と言われる身体運動を伴う教育法に発展していったその発展のあり方を、『ダンノーゼルのソルフェージュ』という他のソルフェージュ教育法と対比させることで、明確にすることができた。</p>
<p>(演奏活動) 「コンサート」 1. 「アンサンブル・ミー ～すてきな春に～」</p>	<p>共同</p>	<p>平成27年4月</p>	<p>アンサンブル・ミー</p>	<p>アンサンブル・ミーは、ソプラノ、チェロ、ピアノの3人によるアンサンブルである。ヘンデル《ラルゴ》、シューマン《蝶々》、ヴィラ＝ロボス《ブラジル風バッハ第5番》他を演奏した。ピアノ伴奏、アンサンブル、ピアノソロ演奏、編曲等を行った。(於：すみだトリフォニー小ホール)</p>
<p>(その他) 「依頼作曲」 1. 『ともだちいっぱい 久喜おやこ劇場』</p>	<p>単独</p>	<p>平成22年10月</p>	<p>久喜おやこ劇場「おやゆめ・こゆめ」第169号</p>	<p>久喜おやこ劇場からの依頼で、久喜おやこ劇場の歌『ともだちいっぱい 久喜おやこげきじょう』を作曲した。作詞は「久喜おやこげきじょうのみなさん」である。国語教育で著名な恩師故大村はま氏のカードを利用する作詞方法を取入れ、制作した。楽譜は、会報「おやゆめ・こゆめ」第169号に掲載された。合唱指導及び編曲を行い、平成22年10月の総会において会員による合唱により発表した。その際ピアノ伴奏を行った。</p>
<p>その他 (表彰等) 特になし</p>				